

交流センターに 「夏」のイラスト

磐田・豊田中美術部員

磐田市・豊田中（同市加茂）の美術部員20人が27日、地元の豊田

東交流センター内の交流スペースのガラス計16枚にイラストを描いた。合わせて縦約1・8メートル、横約16メートルの大作で、部員たちは「地域の人に楽しんでほしい」と話している。

テーマは「夏の日」。太陽が照らす海を泳ぐイルカ、チョウを追いつける「しつぺい」、浴衣を着て花火を楽しむネコなどをアクリル絵の具で描いた。2年の笹井麻都衣さん(13)は「ガラスに描いたことがないので難しかったけど、想像よりもうまくできた」と自信を見せた。

同センターは昨年4月に開所。大迫由美子センター長が「若者が関わることで幅広い世代の交流を生みたい」と、地元中学生にイラスト制作を依頼した。



ガラスにイラストを描く生徒たち＝磐田市高見丘の豊田東交流センター